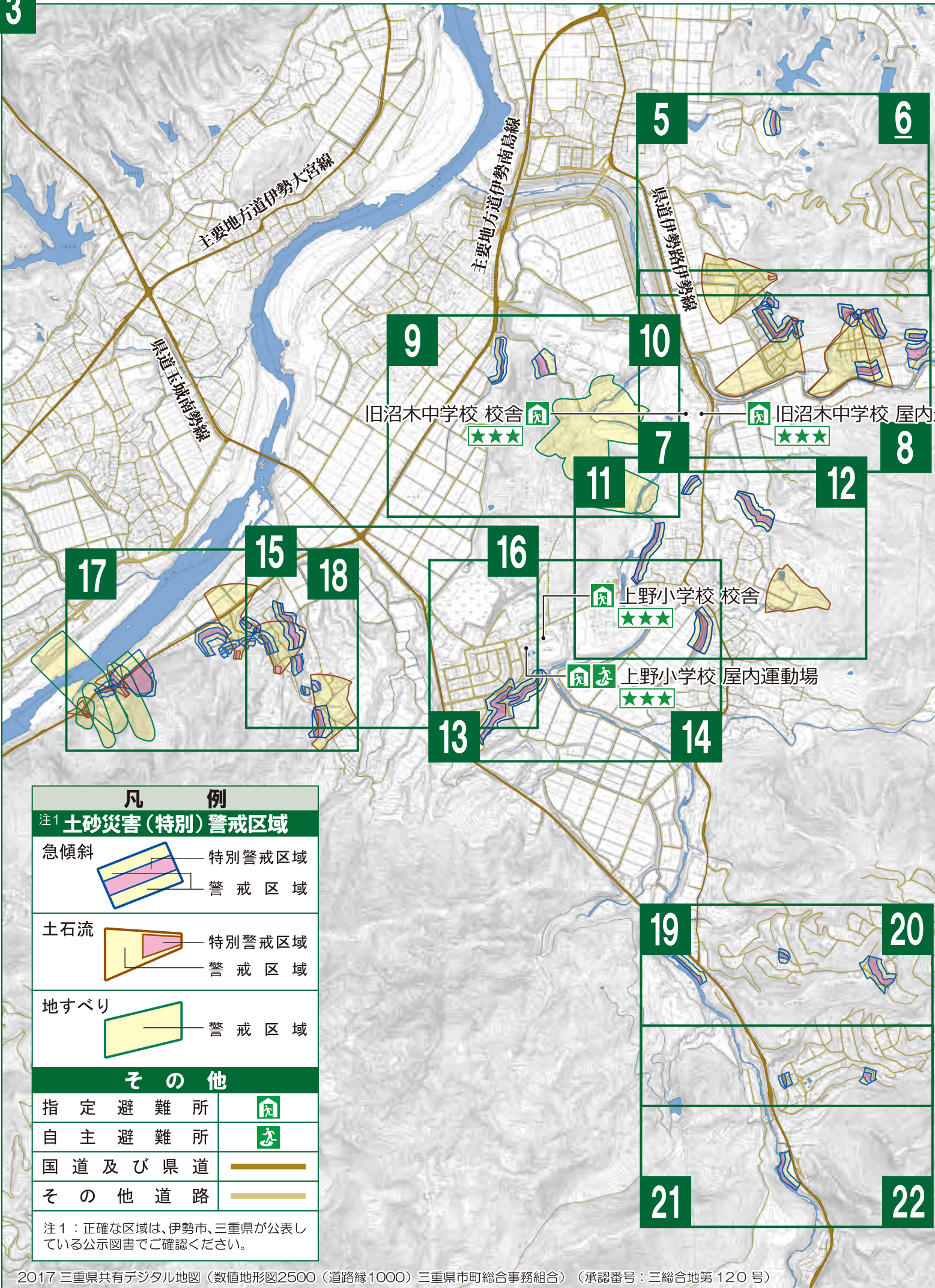




避難の基本は立ち退き避難！

土砂災害が発生する前に、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）の外にある安全な場所へ避難する「立ち退き避難」が基本です。どうしても立ち退き避難が困難な場合は、屋内で安全確保をしましょう。屋内での安全確保は、時間帯や屋外の状況をもとに判断しましょう。

立ち退き避難（基本）



指定避難所や、最寄りの安全な建物へ

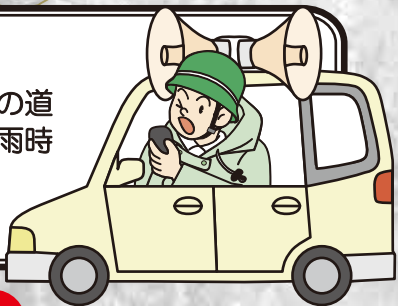
屋内安全確保（緊急時）



がけから離れた部屋や二階などの少しでも安全な場所へ

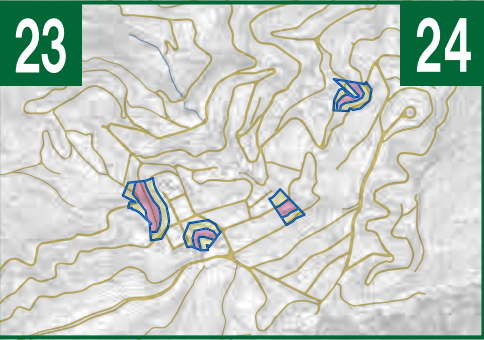
早期の自主避難行動を！！

河川の氾濫や土砂災害などにより、避難用の道路が通行不能になる可能性があります。大雨時には気象情報や避難情報に注意を払って、すみやかに避難行動を取って下さい。



地震と土砂災害

大地震発生後は、少ない雨で土砂災害が発生する傾向にあります。また地震により道路沿いの斜面及び渓流では斜面崩壊・落石・土砂流出が想定されます。



16,000
0 100 200 300 m